



# つがる市議会だより

平成30年 第3回(9月)定例会 第58号 平成30年11月発行  
の内容をお伝えします



おらほの

達人さん

～縄文太鼓を広めたい～

森田地区の縄文太鼓の達人

ちゅうくわ  
左:中空土偶  
右:イタドリを使った茎笛  
いずれも宮崎さん作

今回紹介する方は縄文太鼓を製作し、演奏をしている宮崎 たつみ 龍美さんです。森田地区で発掘された円筒土器がアフリカの太鼓(コンガ)の様だと感じ、自ら作った土器に動物の皮を張ったところ軽やかな音色の太鼓が完成。これをきっかけにオリジナルの太鼓を製作し、東急ハンズ大賞や青森県活性化大賞など数々受賞しています。宮崎さんの工房には縄文人の暮らしを想像しながら作られた楽器が並び、子どもたちに縄文の魅力を伝えたいと普及活動にも積極的です。

## ●●● 目 次 ●●●

- |      |                 |    |                   |
|------|-----------------|----|-------------------|
| 2～3  | 定例会の概要          | 12 | 農業振興対策特別委員会レポート   |
| 4～8  | 一般質問 10議員が市政を問う | 13 | 農業振興対策特別委員会が市長に提言 |
| 9～10 | 予算・決算特別委員会の概要   | 14 | クールつがる            |
| 11   | 議員研修会レポート       |    |                   |

# 平成30年 第3回つがる市議会定例会

会期16日間 平成30年9月4日～9月19日

今定例会の議案は 市長提出議案…19件（うち追加1件）

※各議案は原案のとおり可決、認定となりました。

全ての議案名は市のホームページをご覧くださいか、議会事務局へお問い合わせください。

議案の中から下記をピックアップ。その内容をお伝えします。

稲垣公民館を廃止し、  
**つがる市稲垣ふれあいセンターが  
開設されます**

◇これまで地域文化活動の拠点および稲垣出張所として使用されてきた稲垣公民館は、老朽化により廃止します。

あわせて、近接する旧木造高校稲垣分校を改修し、これまでの公民館や出張所と同程度の機能を持った**つがる市稲垣ふれあいセンター**を設置するものです。  
関連する条例は以下の3件です。

議案第76号 つがる市稲垣ふれあいセンター設置条例案

◇稲垣ふれあいセンターの業務は、

- ①コミュニティ活動の推進に関すること。
- ②地域文化活動の振興に関すること。
- ③生涯学習の推進に関すること。
- ④スポーツ及びレクリエーション活動に関すること。
- ⑤行政情報サービスに関すること。

⑥その他前条に定める目的を達成するため必要な業務。

としており、**平成30年12月3日**の開設を予定しています。



稲垣ふれあいセンター

議案第77号 つがる市出張所設置条例の一部を改正する条例案

◇つがる市稲垣出張所の住所を移転先である稲垣ふれあいセンターへ住所変更をするものです。

議案第82号 つがる市公民館条例の一部を改正する条例案

◇つがる市稲垣公民館を廃止するものです。



長い間親しまれた稲垣公民館

## 主な質問

問 災害有事の際、稲垣地区の情報収集や情報発信の拠点として、電源は確保できるのか。

答 当施設は避難所等に予定であるため、発電機の用意はしているが、太陽光発電の導入は想定していない。導入するとなれば工事などが必要になる。

## 平成29年度一般会計決算の状況 ※1万円未満四捨五入

収入	255億8,624万円
支出	250億9,924万円
繰越金（翌年度へ繰り越したお金）	1億 450万円
実質収支（残ったお金）	3億8,250万円

9月定例会では平成29年度各会計の歳入歳出決算について、全議員による予算・決算特別委員会審査し、いずれも認定と決定しました。

平成二十九年度  
各会計決算を認定

### 平成29年度の事業（抜粋）

●道の駅もりた農産物直売施設建設工事	1億4,904万円
●つがる地球村大規模改修工事	1億3,057万円
●亀ヶ岡石器時代遺跡整備事業費及び田小屋野貝塚整備事業費	1億 679万円
●保育所等第2子以降支援助成事業	6,395万円
●子ども医療費助成事業	6,199万円

**一般会計** 市民一人あたりの支出 **759,926円** 小数点以下四捨五入

人口 32,911人(平成30年3月末現在 外国人を含む)で単純に算出したものです。

## 平成29年度一般会計予算はこのように使われました。

平成29年度一般会計決算額を市民一人あたりでみた場合、市民の皆さんが負担した市税（市民税・固定資産税など）は75,277円で、市民の皆さんのために使われた予算は759,926円になりました。この差額は、地方交付税はじめ国・県などからの補助金等で賄われています。

### 各項目を一人あたりの支出に換算すると

パーセンテージについては端数調整をしています。

福祉・社会保障のために <b>215,059円</b>  <b>28.3%</b>	教育などのために <b>57,754円</b>  <b>7.6%</b>	道路などの整備に <b>70,673円</b>  <b>9.3%</b>	保健や環境衛生などに <b>58,514円</b>  <b>7.7%</b>	消防・防災対策などに <b>47,115円</b>  <b>6.2%</b>
農業・商工・観光振興などに <b>66,874円</b>  <b>8.8%</b>	議会運営のために <b>6,080円</b>  <b>0.8%</b>	その他のサービスなどに <b>51,675円</b>  <b>6.8%</b>	基金(預金)積み立てに <b>79,792円</b>  <b>10.5%</b>	公債費(借入金の返済)に <b>106,390円</b>  <b>14.0%</b>

## 平成29年度特別会計決算の状況

※1万円未満四捨五入

区分	収入	支出	繰越金	実質収支
農業集落排水事業	6億3,690万円	6億3,577万円	0	113万円
公共下水道事業	6億9,480万円	6億9,373万円	0	107万円
国民健康保険	61億3,653万円	58億7,357万円	0	2億6,296万円
後期高齢者医療	7億 608万円	7億 118万円	0	490万円
介護保険	46億6,128万円	46億4,329万円	0	1,799万円

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。

**問** 数料はかかるか。また、北海道・東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録

ご当地ナンバー交付枚数 (平成30年8月現在)			
種別	製作枚数	交付枚数	残数
50cc以下	500枚	286枚	214枚
50cc超え 90cc以下	100枚	29枚	71枚
90cc超え 125cc以下	100枚	43枚	57枚
小型特殊 (農耕用)	300枚	300枚	0枚

**問** 走る広告塔として、市では原動機付自転車等の図柄入りご当地ナンバープレートを発行しているが、これまで何枚交付しているか。  
**答** 合併10周年の記念事業として平成27年4月、原動機付自転車など4車種のご当地ナンバーを製作しました。交付枚数については左記のとおり。



原付第一種(50cc以下)



ほうせいかい なりた かつこ  
芳政会 成田 克子

●ご当地ナンバーで遺跡PRを  
●しゃこちゃん広場周辺を  
整備する考えは

**答** ご当地ナンバーへの交換には手数料はかかるか。また、北海道・東北の縄文遺跡群の世界文化遺産登録

**問** 館岡地区のしゃこちゃん広場周辺を整備し、土日だけでもボランティアガイドを活用しては。  
**答** しゃこちゃん広場には遮光器土偶のモニユメントや案内看板、公衆トイレがあります。今回、世界文化遺産登録の国内選定を受け、仮設案内所の設置、パンフレットや発掘写真、解説などをパネル展示したほか、発掘場所には説明看板を設置しました。今後は史跡の公有化事業とあわせて駐車場など周辺に施設整備を考慮しており、ボランティアガイドについては、関係団体と連携をとって実現したいと思います。

**問** 納税者は無料で交換できますが、交換するナンバーを紛失等した場合、交換金は100円かかります。なお、交換の際は、ご自身で自賠責保険や任意保険等の契約変更が必須となります。今後新規に交付申請があった際は、ご当地ナンバーを推奨し、世界文化遺産登録になった場合、図柄の改良等もあわせて、関係部署と協議したいと考えています。



はせがわえいこ  
無所属 長谷川榮子

●高齢者が安心して暮らせる  
支援策を  
●洋上風力発電事業の見通しは  
●メロン・スイカ  
フェスティバルの成果は

**問** 高齢者のみの世帯では冬期間の暮らしが一番心配されるが、市には冬期間居住できる施設などあるか。  
**答** 森田地区に生活支援ハウスがあります。また、これからは高齢者の見守りネットワーク事業を強化しながら、ニーズに合わせた支援事業を検討したいと考えています。

**問** 65歳以上の一人暮らしの人数(地区別)は。  
**答** 木造852人、森田198人、柏183人、稲垣185人、車力263人、計1681人。

**問** 高齢者のみの世帯は体力の低下や災害時の安全対策などが懸念されます。市では地区別に配置された協力員と民生委員などが連携し、見守り活動をするほのほのコミュニティ21推進事業を実施しています。そのほか、高齢者の課題に応じ、福祉安心電話の設置、軽易な日常生活上の援助を行うホームヘルプ、配食サービス事業なども実施しています。

**問** メロン・スイカフェスティバルの成果は。  
**答** 今年で7回目を迎え、メロン・スイカ販売会では、メロン1959箱、スイカ419玉(前年比25%増)が売れたほか、メロン・スイカのスイーツやキャラクターショーなどイベントも好評でした。しかし、スイカが販売直後に完売したため、来年は数量確保に努力したいと考えています。

**問** 市メリットは。  
**答** 歳入として固定資産税の収入が見込まれるほか、建設等の作業には地元企業の活用など雇用創出効果が期待されます。また、観光資源としての活用なども想定されますが、市への経済効果や地域振興への影響について思慮していきたいと思えます。

**問** つがる市沖洋上風力発電事業の見通しは。  
**答** 民間会社3社が競合した形で計画があります。昨年度から環境影響評価の手続きに入っており、2020年頃までに審査が実施されると思われれます。現在、洋上風力発電については手続き等不透明な状況がありますが、国の動向を注視していきたいと考えています。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



無所属 松橋 勝利

**問** 指定管理者により管理されている施設数は。

**答** 指定管理者制度は、民間事業者などが公の施設管理をするもので、木造9施設、森田6施設、柏11施設、稲垣21施設、車力14施設、計61施設が指定管理者により管理されています。(平成30年4月現在)

**問** 業務委託されている施設数と業務内容は。

**答** 施設は32施設(平成29年度実績)あり、業務内容は鍵の開け閉めや清掃のほか、公園管理では、草刈りなど簡易な業務となっています。

**問** 指定管理者や業務委託業者に対し、適切に指導をしているのか。

**答** 利用状況や経理の執行状況等を確認し、不適切な状況があれば改善を指導し、管理の適正を期すよう取り組んでおりますが、今後は、住民サービスの低下を招かないよう担当部署とさらなる指導の強化に努めたいと思います。

**問** 空き校舎を活用した野菜等の生産はできないか。

**答** 空き校舎については、産業の振

- 指定管理者へ適切な指導を
- 空き校舎を活用しては
- 車力温泉の大規模改修を

興、雇用の創出につながるような企業等の活用を望んでおり、目的、効果など総合的に判断し、条件が合致すれば貸し出しは可能と考えます。

**問** 市が管理する温泉施設の設置年と年間利用者数は。

**答** しやこちゃん温泉(木造)は平成9年設置、利用者11万人、おらほの湯(森田)は平成5年設置、利用者6万人、じよっぱり温泉(柏)は平成4年設置、利用者7万人、稲穂の湯(稲垣)は平成22年設置、利用者5万人、車力温泉(車力)は平成4年設置、利用者8万人となっています。

**問** 車力地区の車力温泉は老朽化しているため、大規模改修をしてはどうか。

**答** 車力温泉は年数経過に伴う損傷が多く見られ、随時修繕を行っています。大規模改修については、財政面を考慮し、他の温泉施設などを含め、計画的に進めたいと思います。



ほうせいかい 伊藤 良二

**問** つがる市の人口減少について現状と対策は。

**答** 市の人口は国勢調査で昭和35年の5万7965人をピークに年々減少し、平成17年では4万91人、平成27年では年3万3316人と合併後10年で6775人減少しています。住民基本台帳では平成29年度自然減386人、社会減171人となっており、今後も続くものと推察されます。地域域活力創生総合戦略に掲げ、現在取り組んでいる様々な施策を確実に実現するため、国が示す趣旨を十分に踏まえた施策展開を図り、市民、議会と問題意識を共有し、人口減少対策を講じたいと考えています。

**問** 若緑団地の建て替え計画は。

**答** 具体的な検討はしていませんが、現在地への建て替えを見込んでいます。今後は、2021年度を目途に平屋一戸建て55戸のうち入居されている38戸を現在整備中の桜木団地に移転してもらい、解体撤去など進めたいと考えています。

**問** 図書館の入館者数の動向は。

**答** 開館3年目を迎え、入館者は月平均1万8千人から2万人で、9月

- 人口減少対策は
- 若緑団地の建て替え計画は
- 図書館の現状は

には60万人を突破しました。2020年6月頃には100万人の達成を見込んでいます。

**問** 利便性向上のため、閉館時間を1時間延長して午後9時までに出るのか。また、入館者が利用できるパソコンなどを設置出来ないか。

**答** 現況の開館時間を適当と判断しています。ただし、パソコンなどの設置の件と同様に、引き続き利用者の声を参酌しながら検討したいと考えています。

**問** 縄文遺跡群の世界遺産登録に向けた構想は。

**答** 構成資産である遮光器土偶など、2つの史跡の活用を保つため、市の景観計画の着手とさらに、構成資産の今後の活用方針を説明するために整備計画を進めていきたいと考えています。



# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



ほうせいかい ささきけいぞう  
芳政会 佐々木敬藏

**問** 県道再賀・木造線工事の進捗状況および工事がなかなか進まないのはなぜか。

**答** 工事の進捗率は77%で2023年度完成予定です。これは平成5年度に着手されましたが、公共事業予算の削減により、平成17年度の一年間休止されたほか、軟弱地盤でもあるため、対策工法に不測の日数を要し、事業の進捗が遅れています。

**問** つがる市及び青森県の減反率は。市の平成30年度減反率は面積換算値で41.97%（前年度比4.44%減）となっており、県の減反率は公表されていませんが、面積換算値は4万747haです。（昨年度比56%減）

**問** 米価安定のため、需要調整が必要であると考え。都道府県単位の協議会がひとつにまとまり、協議できる機関等を設置し、減反率を決めるなど県に提案できないか。

**答** 県の地域再生協議会が農協、集荷組合などの需要確認を受け、生産数量目標の情報提供をしています。このことにより米価の安定が図られ

●県道再賀・木造線の工事進捗状況は魅力ある農業にするための施策は

るものと思っております。

**問** 離農者の増加には収入の不安定などの要因があるが、支援策は。

**答** 平成31年度開始の収入保険は品目の限定がなく、自然災害による収量減少や価格低下などの収入減少を補てんするため、農業経営の長期的な安定が図られると考えられます。また、人手不足に備えた省力化を図る機械化も一つの手段であり、国・県及び市の補助事業等を総合的に組み合わせて活用してほしいと思えます。

**問** 農地中間管理事業は重要な役割を担っているが、今後の計画は。

**答** これは、国の事業で担い手への農地集積、集約化を加速させ、生産コストの削減が図られるもので、来年度から見直しされます。未確定ですが、機構集積協力金は継続しつつも、個人への交付は縮減され、農地集積に協力した地域に対する支援を重点化するようです。今後国の事業が確定次第、農業者に周知する考えです。



いつわかい はせがわ とおる  
五和会 長谷川 徹

**問** 今年度実施したネブタまつりと馬市まつりの参加台数（団体数）と観客数は。

左記のとおり。

ネブタまつり	昨年度	今年度
参加台数	11台	11台
観客数	約1万2,000人	約1万3,000人
馬市まつり	昨年度	今年度
参加団体数	29団体	29団体
観客数	約2万9,400人	約3万1,200人

**問** 馬市まつりパレードに参加した団体を地区別に教えてほしい。

**答** 木造19団体、森田2団体、柏4団体、稲垣2団体、車力2団体となっています。

**問** ネブタまつりは木造地区と柏地

●イベントをさらに盛り上げては

区だけの参加だが、各地区から参加できるようにしては。

**答** ネブタの運行が人力であり、運搬に時間を要するため、運搬方法などを検討すれば、木造地区以外でも参加してもらえるのではと思っております。

**問** 建設予定の新体育館駐車場に各ネブタ小屋を集約し、そこでネブタを製作させては。

**答** 新体育館完成の際は、教育委員会やネブタまつり実行委員会、関係機関と協議したいと思えます。

**問** 今後、予定しているイベントは。来年度、あおり10市大祭典がつがる市で開催される予定です。これは、県内10市のまつりとグルメが一堂に集まる県内最大のイベントで、場所はイオンモールつがる柏駐車場を考えています。

**問** 10市大祭典で市独自の企画はあるか。

**答** 企画については検討中ですが、つがる市に多くの人々が来訪するようなイベントにしたいと思っております。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



無所属 さいとう けいいち 齊藤 渡

●Uターナー者を誘導させる  
施策を  
●地域内交通の運行内容は

問 Uターナー者が農業以外で起業したい場合、経済面で支援策はあるか。

答 Uターナー者など市内で起業する人を対象に賃借料、人件費などの経費、月額2万5千円（年額上限30万円）を3年間補助するつがる市Uターナー起業支援事業費補助金制度があります。そのほか、空き店舗を活用して起業した場合には、空き店舗対策事業補助金、起業者が金融機関から融資を受ける際、信用保証料全額を補助する特別保証融資制度もあります。

問 実家で農業をやっている45歳以上60歳以下のUターナー者が就農できるようにする方策はあるか。

答 支援制度はありませんが、就農希望者は貴重な人材であり、市としても営農指導や農業経営相談などできるよう県、農協などと協力していきたいと考えています。

問 農業次世代人材投資事業により、夫婦で就農した場合の1年間当たりの交付した額は。

答 交付額は通常の1.5倍で、年間225万円となっており、実績は平成29年度、30年度それぞれ1組ずつあ

ります。

問 特定バス路線の廃止により運行される地域内交通の運行内容は。

答 これは、五所川原市に接続している一部のバス路線廃止に伴い、ほかのバス路線に接続（乗換）するものです。運賃は100円から500円となっています。

問 市民診療所の送迎をしている多目的バスと地域内交通は連動するの

か。答 接続のみの対応となっているため、連動はありませんが、今後さらなる地域内交通の整備に取り組み際に、多目的バスも含めた全体的な検討がされるものと考えています。



地域内交通バス



ほうせいかい みかみ よう 芳政会 三上 洋

●戦争を風化させない対応を

問 悲惨な戦争の記録、記憶を引き継いで次世代に伝えていくことが私たちの使命であると考えます。戦争を風化させないために市はどう対応するか。

答 市では戦没者追悼・平和祈念式を毎年開催しており、大戦における戦没者を追悼し、遺族の方に弔意をあらわすとともに恒久平和を祈念する貴重な機会と思っています。追悼式に出来る限り多くの人が参列できるように継続実施し、遺族の支援をしたいと思っています。

問 戦没者遺族の高齢化が進み、競争体験の伝承活動の継続が困難な中、福井県では孫や、ひ孫など次世代の会を結成して活動しているが、市でもできないか。

答 遺族への支援として、戦没者追悼・平和祈念式の開催、青森県追悼式、全国戦没者追悼式の参列者などへのサポートをしており、今後も遺族の方が次世代に引き継げる活動について協力したいと考えています。

問 東京都三鷹市では戦争に関する資料などをデジタル化し、インターネットで公開しているが、市でもこ

のようにできないか。

答 戦争の悲惨さを後世に伝えるには、どのような方法があるかなど、今後検討していきたいと考えています。

問 地区別の戦没者数と遺族会の会員数は。

答 左記のとおり。

地区	戦没者数	遺族会 会員数
木造	662人	147人
森田	154人	32人
柏	141人	13人
稲垣	188人	39人
車力	180人	37人

問 遺族会を存続するための支援は考えているか。

答 戦争を後世に伝える活動は重要と考えているため、遺族会を中心としたような支援方法があるか、検討したいと考えています。

# 一般質問 ここが聞きたい

各議員の質問と答弁の趣旨を掲載しています。



いづわかい なたか とおる  
五和会 田中 透

**問** これから企業誘致や転入者を増やすことに取り組みのめであれば、これらを受け入れる準備を計画する必要がある、利便性の良い柏地区の国道101号線バイパス周辺の土地を整備すべきではないか。

**答** 今後整備される津軽自動車道沿線の開発、市の財産の活用など、将来像を予測して地域活性化に対応したいと考えています。

**問** 市の加工センターの状況は。

**答** 加工センターは木造、柏、稲垣地区に各1施設あり、築年数が27年から35年経過し、老朽化が進んでいます。

**問** つがる市農産物直売所の駐車場を拡張し、加工施設の併設をしようか。



農産物直売所

●都市計画を考えているか  
●加工センターを整備しては  
●子どものスポーツ振興策は  
ほか

**答** 駐車場については、調査・検討に着手しており、加工施設については、既存施設の統廃合を視野に場所や規模など、慎重に熟慮する必要があります。

**問** 小中学生の部活動やスポーツ少年団に対し、支援策は検討しているか。

**答** 遠征費や用具の購入費、強化費などの支援は選手、指導者へのバックアップになると強く感じているため、補助金の趣旨の範囲内において、有効な支援策が講じられるよう検討したいと思っています。

**問** 市の小中学校では、保護者に不審者情報など一斉メールで提供しているが、発生件数が多い柏小・中学校の通学路は市職員が行っている巡回のコースに入っているのか。

**答** 柏地区では自主防犯パトロール隊として、職員2名が週2回、小中学校周辺を重点的に巡回しています。



きしんかい のろ つがさ  
紳心会 野呂 司

**問** 空家等対策の推進に関する特別措置法により、市町村は空き家等の対策計画ができるようになったが、市の状況は。

**答** この計画は義務ではありませんが、策定状況は全市区町村で45%、青森県では23%で、市は未策定の状態です。住宅地図会社が市内すべての住宅を調査中（今年度末、終了予定）で、調査結果から空き家の情報を活用し、早急に協議会を立ち上げ、計画の策定に着手したいと考えています。

**問** 倒壊などの危険や衛生上問題のある特定空き家等の状況は。

**答** 倒壊の危険があるものが24件、そのほか、庭木等の管理不全による害虫の発生や景観、防犯上の問題があるもの30件程度を確認しています。

**問** 特定空き家等への対応は。

**答** 固定資産税や登記、戸籍の情報を利用して、所有者や管理者の特定に努めており、平成27年度では2件、28年度9件、29年度2件、適正管理をするよう助言、指導を行っています。



返礼品の土偶

**問** 平成29年度のふるさと納税の寄付額は28年度に比べ、910万円減少して2240万円であったが、その原因は。

**答** 平成28年度までは返礼率が3割を超える返礼品があったが、総務省の指導により返礼率を3割以内にしたことや品目を増やせなかったことが影響したと考えています。

**問** 新たな返礼品の考えはあるか。

**答** つがる地球村、柏口マン荘などの宿泊券を検討しています。また、返礼品として遮光器土偶の置物がありますが、北海道・北東北の縄文遺跡群が世界文化遺産国内推薦候補になったことで、縄文に関する問い合わせが増加しているため、縄文に関する新たな返礼品の開発ができないか検討したいと考えています。

●空き家対策計画の状況は  
●ふるさと納税の  
取り組み内容は

# 予算・決算 特別委員会



委員長  
佐々木慶和

三十九年度補正予算と  
二十九年度決算の内容を  
お伝えします

議案第65号

平成30年度つがる市一般会  
計補正予算（第3号）

## 共通投票所設置費

2257万2千円

齊藤 渡 委員

問 共通投票所について詳  
しく。

答 これまでの指定投票所  
49カ所を16カ所に再編し、  
当日すべての投票区におい  
て、投票できるシステム（Ⅱ  
共通投票システム）を導入  
した。そのほか、イオンモー  
ルつがる柏に共通投票所を  
設置したことで計17カ所の  
投票所となり、市内におけ  
る有権者は当日どこでも投  
票できる。

つがる市議会議員一般選挙費  
△1312万1千円

齊藤 渡 委員

問 この減額はポスター掲  
示場などの減少によるもの  
か。

答 投票所の減少に伴い、  
各投票所の投票管理者、職  
務代理人、立会人の人件費  
を減額し、あわせて、掲示  
場の数も減つたため、候補  
者のポスターにかかる印刷  
製本費、掲示場の設置委託  
料も減額となった。

## ブロック塀解体工事

49万8千円

長谷川 榮子 委員

問 ブロック塀の解体は大  
阪での地震を教訓にした対  
応かと思うが、市には問題  
のあるブロック塀は何カ所  
あるのか。



旧木造西中学校

問 旧木造西中学校と旧木  
造中央公民館の2カ所に問  
題のあるブロック塀があ  
る。先に旧木造西中学校を  
解体し、旧木造中央公民館  
については、道路や歩道に  
面していないため、緊急性  
が高くないと判断し、今  
後、対処するものと考えて  
いる。

## 地域内交通停留所 標識整備委託料

454万円

松橋 勝利 委員

問 この地域内交通の停留  
所は何カ所を予定している  
のか。

答 9月末をもって弘南バ  
スの4路線が廃止されるた

め、10月から運行する代替  
バスの停留所を57カ所設置  
するもの。

## 東京事務所開設準備費

2万7千円

木村 良博 委員

問 東京事務所開設準備の  
状況は。

答 東京事務所は市の優れ  
た特産品・観光PRなどの  
情報発信と企業誘致に関  
する情報収集、アンテナ  
シヨップ機能を持つ拠点で  
あり、来年度4月の開設に  
向け、職員2人が県の東  
京事務所で研修中である  
が、4月からは市の東京事  
務所へ配置し、そのほかに  
2人加わり4人体制での開  
設を考えている。アンテナ  
シヨップについては、7月  
頃をめどに調整中である。

## つがる地球村温泉棟 建設工事設計業務委託料

2700万円

伊藤 良二 委員

問 工事の内容は。

答 平成20年に改修した温  
泉棟は湿気等により、はり  
や壁等が腐食し、崩落の危  
険があつたため、改修工事  
により対応してきたが、施  
設全体に腐食、劣化が進み、  
建て直しの必要があると判  
断した。現在、森田地区に  
あるおらほの湯の機能も持  
たせるため、規模が2倍程  
度の新たな温泉棟を建設す  
るための基本設計、地質調  
査を委託するもの。

## 議案第70号

平成29年度つがる市一般会  
計歳入歳出決算の認定を求  
めるの件

※千円未満四捨五入

## 一般会計歳入歳出決算 審査意見書について

松橋 勝利 委員

問 不能欠損の状況は。

答 収納担当において、日  
ごろから納付が遅れている  
事案を調査し、必要に応じ  
て財産調査、差し押さえ等  
を行っている。一方、滞納  
者に連絡しながら徴収した

が、様々な要因により徴収に至らなかつたケースもあつたため、今後とも徴収に努力したいと考えている。

**地方創生事業費  
負担金補助金及び交付金  
1933万7千円**

佐藤 孝志 委員

**問** この事業の平成28年度、29年度の実績はどうであつたか。

**答** 左記のとおり。

事業名	28年度	29年度
移住者マイホーム応援事業補助金	3世帯 13人	2世帯 7人
子育て・若年夫婦世帯移住応援事業補助金	実績なし	9世帯 28人
新婚生活家賃応援事業補助金	13世帯 31人	18世帯 41人
民間賃貸住宅建設支援事業補助金		2棟 8戸

**福祉安心電話維持管理委託料  
312万円**

長谷川 榮子 委員

**問** 安心電話はどのくらい普及されているか。

**答** 安心電話はひとり暮らしや高齢者の夫婦世帯が安心して生活できるように、緊急時の通報や対応のため緊急通報装置を設置し、在宅生活の支援を行うもので、260世帯の方が利用している。

**問** 設置には保証人が必要なのか。

**答** 保証人は不要だが、緊急時の連絡先として民生委員など2名程度を申請時に届け出てもらっている。

**森田地区ふれあいサロン  
事業委託料  
164万2千円**

長谷川 榮子 委員

**問** どのような事業なのか。

**答** これは、森田地区の65

歳以上の方を温泉施設へ週2回送迎するもので、委託先は社会福祉協議会となっている。

**農地耕作条件改善事業補助金  
956万円**

佐々木 直光 委員

**問** この事業の実績は。

**答** 平成29年度は森田町上相野と柏桑野木田地区において47.81haを実施し、市では10aあたり2万円を補助している。

**問** 市の水田面積を考えると、進捗を早める必要があるのではないか。



**問** 暗渠排水事業の補助制度の見直しによつて10aあたりの補助額が減額となつた。現行、単独での暗渠排水事業では農家負担が増えるため、今年度実施にあたり、面的整備も含めた水田区画の拡大などの事業と組

み合わせて、補助金が増額されるよう実施している。土地改良区では、当面は100ha程度を毎年実施する意向であり、市としても協力していきたいと考えている。

## 総括質疑

芳政会 伊藤 良二

**問** 平成29年度の決算状況と各財政指標はどうであつたか。(前年度比)

**答** 歳入歳出差引額から翌年度へ繰り越すべき財源を差し引いた実質収支額は、3億8249万5千円(1億6694万9千円減)となり、実質公債費比率11.9%(±0)、将来負担比率113.6%(2.7ポイント改善)となりました。

**問** 平成30年度予算で市債残高はいくらであつたか。

**答** 一般会計では376億3619万4千円となり、下水道事業を加えると、総額470億2230万円となっています。

**問** 来年度の予算編成の基本方針は。

**答** 基本的には従来の方針を踏襲したものである見込みであり、具体的には農業振興促進事業や子ども・子育て支援事業、人口減少対策など地域創生事業を中心とした予算編成を考えています。今後、市の将来に向けて健全な財政運営を維持するためには、財政規律を堅持する必要があり、大規模事業の計画とあわせて予算編成に努力する考えです。

## 議員研修会 レポート

## 変化に対応し、変化を読む議会へ

10月3日、議員団は十和田市において開催された青森県市議会議長会研修会に参加。

今回は、「地方議会が実現する地方創生」をテーマとした早稲田大学マニフェスト研究所の中村健事務局長による講演が開かれ、時代背景を捉えながら良いものは取り入れ、悪いものは見直すなど議会も変化に対応しなければならない。議会は首長より強大な権限を持っているということを再認識し、首長が提案している政策などが一番適切な手法なのかどうか調査・分析し、これまで以上に議会本来の役割を十分に発揮してほしいと話された。また、議会改革の先進的な取り組みとして、町田市議会では委員会において、請願者が発言できる発表席を設けているなどの事例をあげており、今後の議会改革を進めていく上で、非常に参考となる研修であった。



## 白戸勝茂議員へ感謝状

7月21日、白戸勝茂議員は航空自衛隊車力分屯基地の川廣佳親基地司令より感謝状が贈呈されました。

これは、昭和62年4月以来、車力村議会議員およびつがる市議会議員として、車力分屯基地の諸行事、広報活動等を積極的に支援したほか、平成19年6月から平成27年2月までの間、基地対策特別委員長を務めるとともに、平成19年5月から現在に至るまで、つがる市防衛議員連盟会長を務め、車力分屯基地の良き理解者として、つがる市の生活安定に貢献した功績によるものです。



感謝状の贈呈を受けた白戸議員（左）

## 基地対策特別委員会

### 総務省および防衛省、東北防衛局へ要望活動

10月25、26日の両日、天坂昭市議長、山本清秋基地対策特別委員長、高橋作藏同副委員長は、倉光弘昭副市長とともに米陸軍車力通信所に関する要望活動を実施しました。

今回は、基地に係る交付金制度の見直しや洋上風力発電事業の除外地域に伴う固定資産税減収に対する財政的支援のほか、米陸軍車力通信所を特定防衛施設に指定するよう強く求めました。それに対し、鈴木総務副大臣は「法律の規定がある以上なかなか難しいが、予算総額を増額する過程で配慮したい」と話し、内藤自治税務局長からは「研究のための時間が欲しい」との回答を頂きました。今後も本委員会では国の動向を注視し、積極的に活動してまいります。



要望書を手交する副市長（総務省）



要望内容の説明（防衛省）

# 行政視察報告

先進自治体の事例を学ぶため、特別委員会が視察を行いました。その概要をお知らせいたします。

## 農業振興対策特別委員会

視察先：秋田県大仙市 他（7/11～7/12）

### 「活かし・育み・つなぐ だいせん農業の実践」第3次大仙市農業振興計画による取り組みについて

大仙市では、本市と同様に稲作中心で、作付面積12,800ha、収穫量73,700t(平成29年産)を誇っているが、①米政策の大転換と今後の農政に不透明感があること ②人口減少による米需要の低迷と米価の不安定 ③農畜産物の輸出入の進展により、米をはじめとする農畜産物価格を押し下げることが危惧され、将来にどう繋いでいくかといった課題に取り組むため第3次計画を策定した。全国各地でこういった取り組みが行われていることから一筋縄ではいかないが、大仙市では試行錯誤しながら取り組んでいるとのこと。



大仙市役所にて

#### 【主な先進事例等】

- ① 地下灌漑システムを取り入れた圃場整備が進められている。
- ② 農業法人88と集落営農49の組織化が進んでおり、市単独で設立にかかる経費等助成している。
- ③ 土地利用型の作物による複合経営を推奨し、地域振興基金を活用した大豆産地化事業をスタートさせた。
- ④ トマトメガハウス団地(約90坪×104棟)、シャインマスカットやシイタケのネットワーク団地、冬季間のイチゴ栽培等、園芸部門の推進を図っている。
- ⑤ 雇用拡大のため、通年雇用する農業法人に対し、一部経費を市単独で助成している。
- ⑥ 担い手の育成のため、市独自に新規就農者研修施設を二カ所設置。(うち一つは空き校舎利用。)農業次世代人材投資事業(年間150万円)と冬季間研修(秋田県の事業で月7万5千円、10月～3月)の二つの研修パターンがあり、各施設に元県の普及指導員を2人ずつ配置し、研修を行いながら支援している。ここ2年間で73人が研修し、そのうち15人が雇用就農、58人は独立した。
- ⑦ 生産から販売まで6次産業化としてモデル的な取り組みが進んでおり、トマト栽培から販売まで行う法人が、道の駅に併設された加工工場でジュース等の製造を行っている。販売のほかに施設見学も受け入れている。そのほか道の駅のレストランを運営する法人は、地元で生産された水耕栽培の野菜、豚肉、米粉麺等を使用したメニューを提供している。

また、「いぶりがっこ」の製造は県内トップであるが、ダイコンの生産が少なかった。生産から販売まで6次産業化推進のため、「大仙市いぶりがっこ」産地化協議会を設立し、官民一体となって取り組んでいる。  
※これらの取り組み内容について説明があり、活発に質問が出され意見交換が行われた。

#### 【関連施設を視察】



生産から製造、販売まで行う  
トマト加工工場(大仙市)



米依存経営脱却を目指し整備  
された104棟の園芸メガハウ  
ス団地(大仙市)



地域の農産物がなんでも揃う  
「道の駅 十文字」(横手市)

#### 【今回の視察のまとめ】

本市の基幹産業である農業は、後継者不足、農地の集積等の課題が山積している。今回の視察地では、これらの課題に積極的に取り組んでおり、本市農業においても参考となるものであった。

これまでの研修内容を検証し、委員会で議論し出された意見をまとめ、市並びに農業委員会に農業振興のため提言することとしている。

(つがる市ホームページ:つがる市議会→農業振興対策特別委員会→第12回にも視察内容を掲載しています。)

## 農業振興対策特別委員会が 市長に提言!



提言書を手交する木村委員長



つがる市の農業を良くしたいと熱い意見が交わされました

平成29年3月設置の農業振興対策特別委員会は、本市の基幹産業である農業発展のため、具体的な農業振興策について議員自らも調査・研究を行い、市長等へ政策提言を行うことを目的に、これまで議論を重ねてまいりました。

このたび、その調査・研究、視察結果等の内容をまとめ、去る10月29日、市長並びに農業委員会会長へ提言書として提出しました。

提出後、意見交換を行い、これまでの施策を継続しながらも、常に検証しながら意見を出し合い、本市農業の維持、そして発展のため取り組むよう要望しました。

### 【主な提言項目】

- ① 農地の集積・集約化による農業振興について
- ② 農業指導・支援体制強化による農業振興について
- ③ 6次産業化による農業振興について
- ④ つがる市農産物のブランド化による農業振興について
- ⑤ 労働力及び担い手不足対策について

※提言書は、つがる市ホームページ内の、つがる市議会「農業振興対策特別委員会」をクリックするとご覧いただけます。

## 高校生が議場見学

職場体験として高校生が議会事務局に訪れました。定例会の傍聴や会議資料の帳合など体験した五所川原工業高校2年の工藤優さんは、「議員の年齢層が高いように感じられたので、もっと若い人に出てきてほしいと思った」と話し、同高校2年石戸谷咲樹さんは、「傍聴してみて、はじめは難しい言葉に慣れなかったけど段々分かるようになり、皆さんがつがる市のことを考えてやってくれていると感じて、感謝しなければと思った」と感想を述べていました。

**来庁した高校** 五所川原工業高校、木造高校、五所川原第一高校、五所川原農林高校の皆さん

議会は手続き不要で、どなたでも傍聴できます。日程については、ホームページをご覧ください。か、議会事務局にお問い合わせください。



傍聴する工藤さん(左)と石戸谷さん(右)



初めて見る議案書に興味津々

## 行政視察来庁

### 【胃がん撲滅検診事業について】

平成30年8月8日、福岡県嘉麻市議会  
(民生文教委員会・5人)

### 【Xバンドレーダー基地と地域との関わり など】

平成30年9月3日、京都府議会 (会派・7人)

視察では、事業実施に至った経緯や現状、課題など担当者が説明し、活発な意見交換が行われました。



挨拶を述べる天坂議長

つがる市立図書館

(指定管理者 株式会社図書館流通センター)

☎0173-25-3131

http://tsugaru-city-lib.sakura.ne.jp

■つがる市立図書館は平成28年7月、イオンモールつがる柏に開館し、今年9月には入館者数60万人を突破。県内の図書館では青森市民図書館、八戸市立図書館、青森県立図書館に次ぐ入館者数(昨年度実績)となっています。地域ならではの工夫も多く、さらなる進化を続けている図書館のご紹介です。

■つがる市のクール(良質なものの頑張っているひとetc)をジャンル問わず随時紹介してまいります。

イオンがらす!

- ①ショッピングモール内にあり、カフェも併設。ふた付きの飲み物であれば、館内の一部を除き、持ち込み可能。入りやすく、本とふれあいやすく、居心地の良い空間を提供している。
- ②市の基幹産業である農業に関する資料が充実。
- ③館内貸出用タブレット(10台あり)で、農業専門データベースや小中学生向けのデジタル学習教材を利用できる。
- ④郷土資料を入り口付近に設け、自分のまちを知ることで郷土愛が育まれることを期待し、つがる市から一旦離れても将来帰ってきて欲しいと願いを込めている。
- ⑤自動貸出機、書籍消毒機を導入し、利便性を高めている。



スタッフの皆さん

～催し物お知らせ～

11月17日(土)講演会  
「西北地域で今後期待される野菜品目について」

11月26日(月)研修会  
「子どもの読書活動(読み聞かせ)に関する研修会」

詳しくは、市立図書館へ

編集室から

お洒落で開放感あふれる市立図書館にはたくさんの方が訪れ、同スタッフは生活の一部として自然に立ち寄れるような図書館にしたい。地域に親しまれる図書館として、地域の方と一緒にいきたいと話されていました。図書館では講演、講座、読み聞かせ、ワークショップなど多数の企画を用意し、魅力ある図書館づくりに取り組んでいます。

12月の議会活動の一端をご紹介します

8月	28日	議会運営委員会
9月	4日	平成30年第3回つがる市議会定例会開会
	7日	定例会一般質問
	10日	定例会一般質問
	11日	予算・決算特別委員会
	12日	予算・決算特別委員会、議会改革検討特別委員会
	14日	教育民生常任委員会、総務常任委員会
10月	19日	平成30年第3回つがる市議会定例会閉会 農業振興対策特別委員会
	3日	青森県市議会議長会議員研修会(十和田市)
	17日	議会改革検討特別委員会
	23日	市議会だより編集委員会
	25~26日	要望活動(総務省、防衛省、東北防衛局)
	29日	農業振興対策特別委員会(提言書提出)

**議会中継**を  
ご覧いただけます。  
本会議などの様子を  
インターネットによる  
ライブ中継、録画中継の視聴が  
できるようになりました。

つがる市議会 インターネット中継

次回定例会予定  
**12月**  
詳しくはホームページを  
ご覧いただくか  
議会事務局に  
お問い合わせください。

■市議会だより編集委員会

委員長	三上 洋
副委員長	田中 透
委員	伊藤 良二
委員	佐々木 慶和
委員	佐藤 孝志
委員	長谷川 榮子
委員	佐々木 敬藏

つがる市になってから早十四年目になり、つがる市議会だよりも市内5地域の皆様とともに歩んでまいりました。議会は何をしようか?と疑問を持たれる方が多いかと思えます。まちづくりのためリーダーは市長であり、市役所はすべて市長の指示に基づいています。しかし、市民の声が活かされていなければ、良いまちづくりはできず、その市民の声を代弁するのが議員であり、意見を伝える場所が議会なのです。

私たちは常に地域の現状と問題点、将来のあり方を考えながら議員活動に努め、この活動を広くお伝えしていきたいと考えております。また、編集委員会では見やすく分かりやすい広報に心がけて、なお一層努力してまいります。

(佐々木 敬藏 記)

こちら編集室